

平素より当院地域医療連携にご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。
 当科において泌尿器疾患に対する手術治療は腹腔鏡下手術、光選択的前立腺レーザー蒸散術、
 経尿道的尿管結石碎石術(レーザー)、体外衝撃波結石破碎などを導入しており、低侵襲手術
 で
 地域医療に貢献できるよう努めております。今回は、泌尿器科領域の『腹腔鏡下手術』につ
 いてお知らせいたします。
 今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。(2019年1月 泌尿器科部長 永田 大介)

腹腔鏡手術のメリット

出血が少ない

傷が小さい

術後の回復が早い



腹腔鏡手術の適応疾患は？

腎がん	腫瘍の大きさ、部位により、腹腔鏡下腎部分切除か全摘出かを検討します。 一般的には腫瘍径4cm以下の突出型は部分切除の適応です。
腎盂がん・尿管がん	腎尿管全摘、膀胱部分切除術は腹腔鏡手術を選択します。 ※ただし下部尿管、膀胱部分切除は6~7cmの下腹部切開の開放手術です。
膀胱がん	原則的に3つの傷での腹腔鏡下膀胱全摘を行っています。 尿路変更は体外で作成しています。
前立腺がん	一般的には、前立腺周囲へ浸潤した進行例を除き、腹腔鏡下前立腺全摘および 必要な症例はリンパ節郭清を行います。
副腎腫瘍	大きさにより適応を判断しています。 一般的には4~5cm大までは腹腔鏡での手術を行っています。
腎盂尿管移行部狭窄症	成人の症例に対して、腹腔鏡下腎盂形成術を行っています。

ご予約・お問い合わせ先／一宮西病院 地域連携室

TEL : 0586-48-0022